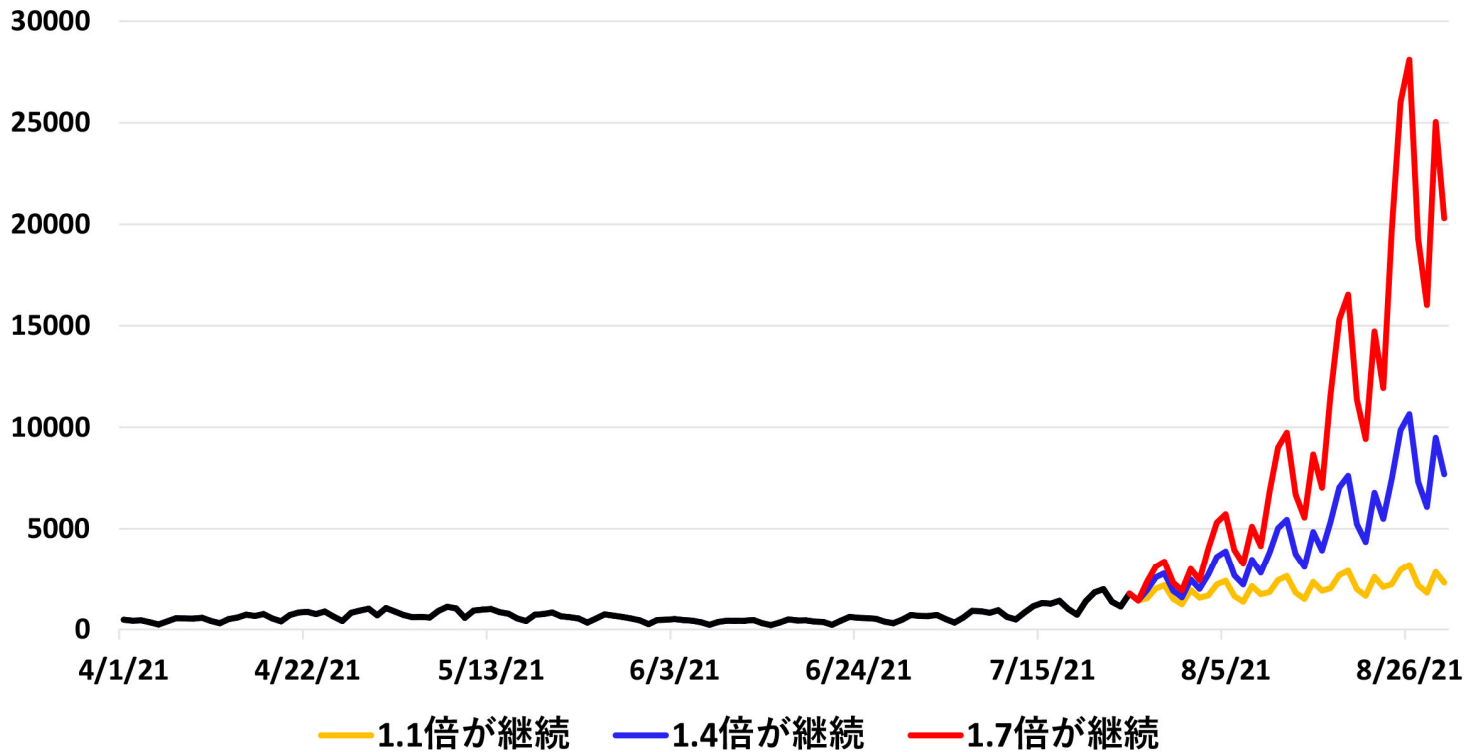


別紙 1

報告日別感染者数の推移
(今週先週比1.1、1.4、1.7 が継続した場合)

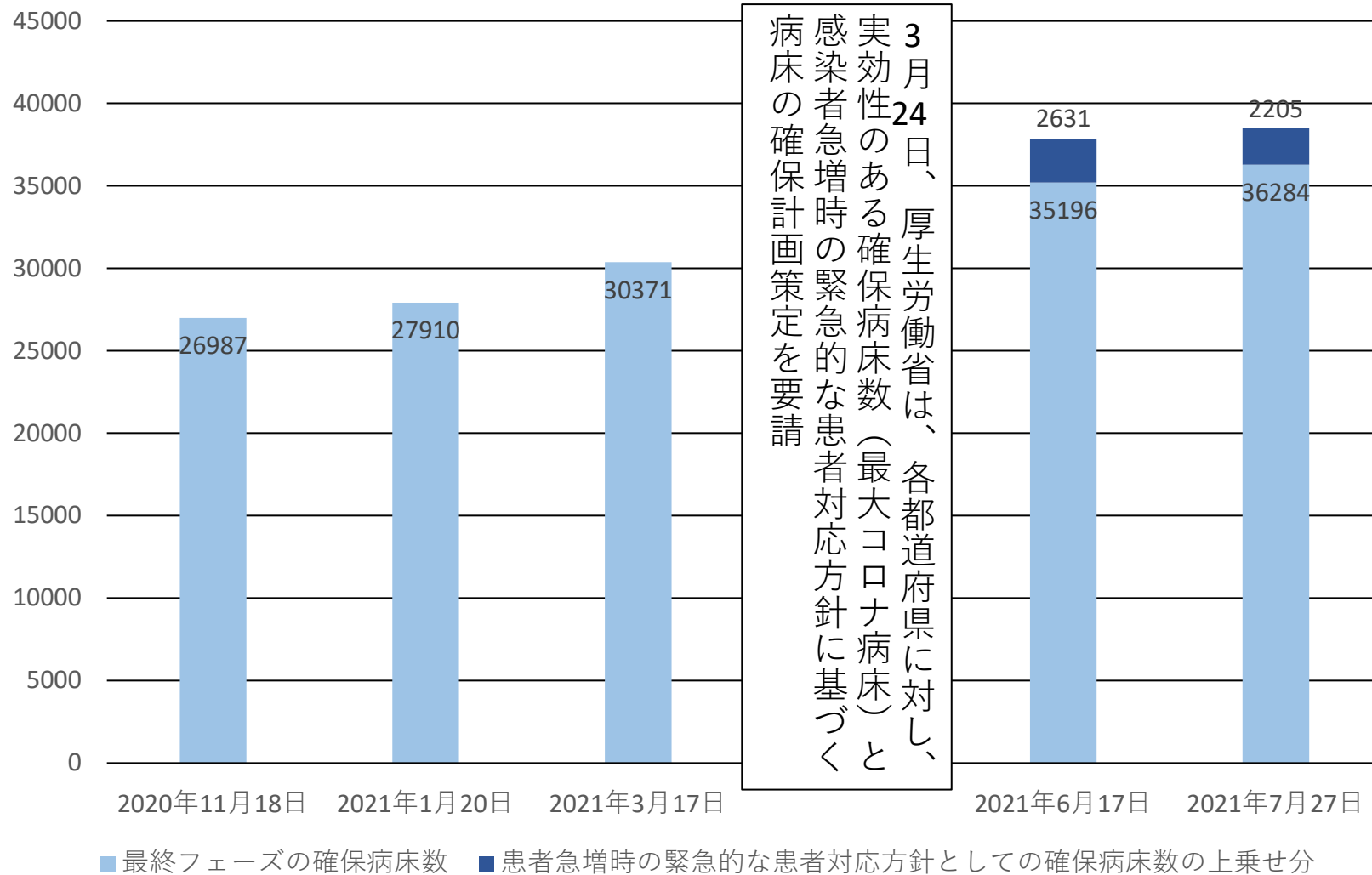
東京都



厚生労働省第45回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード（令和3年7月28日）

実際の陽性者数は、7月25日1763人、26日1429人、27日2848人、28日3177人で、1週間比1.5以上で推移している。さらに感染の拡大が続けば、医療提供体制は破綻する。

確保病床の推移



厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況、病床数等に関する調査結果」、同省サイト病床・宿泊療養施設確保計画 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage_00057.html) より

別紙 3

東京都、大阪府の例

第3波では、東京都の確保病床使用率は83.6%（1月12日）、入院・入所先確認中は6,419人（1月20日）となった。また第4波では、大阪府の確保病床使用率は83.2%（5月4日）、入院率は9.8%（5月11日）まで低下して入院できない事例が非常に多くなった結果、自宅療養者と入院・入所先確認中の待機患者の合計は18,260人に達した。

	本例の 感染拡大期	確保病床使用率	入院率 (入院者数、宿泊療養者数、 自宅療養者等数、療養先調整中の者に対する入院者数の割合)	確保病床使用率 (重症患者)	自宅療養者、 療養先調整中の 合計
東京都	第3波 (2020年11月～ 2021年1月)	83.6% (1月12日) ※38.3% (7月20日：前日比 6.5ポイント悪化)	— ※23.7% (7月20日：前週比 5.6ポイント悪化)	— ※52.8% (7月20日：前日比 8.2ポイント悪化)	15,477人 【9,058人、6,419人】 (1月20日)
大阪府	第4波 (2021年 3月～5月)	83.2% (5月4日) ※20.3% (7月20日：前日比 3.8ポイント悪化)	9.8% (5月11日) ※24.0% (7月20日：前週比 4.8ポイント悪化)	80.4% (5月4日) ※11.2% (7月20日：前日比 0.5ポイント改善)	18,260人 【15,031人、3,229人】 (5月12日)

出所：数値は、厚生労働省「都道府県の医療提供体制等の状況（医療提供体制・監視体制・感染の状況）」、「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況、病床数等に関する調査結果」

※「入院率」は、4月13日集計分より追加

※東京都独自基準によるものではないため、確保病床使用率（重症患者）は空欄としている

別紙 4

新型コロナウイルスワクチン接種のメリット

自宅療養の16歳から30歳の若年患者の半数以上が、感染後半年間という長期間にわたって、呼吸困難、味覚障害、嗅覚障害、倦怠感、集中力や記憶力の低下などの症状を経験

『Nature Medicine』 2021 6/23

接種部位の痛み、発赤、腫れ、発熱、頭痛、倦怠感など数日で消失

感染拡大の防止

重症化予防

感染した場合の
後遺症を防ぐ

副反応

関連性が考えられる副反応
関連性が否定できない副反応
漠然とした不安

